

『国連研究』第 27 号 原稿募集

編集委員会

日本国際連合学会会員の皆さま

『国連研究』第 27 号（2026 年 6 月刊行予定）の原稿を下記の要領で募集いたします。

I. 募集する原稿：①特集論文、②独立論文、③政策レビュー、④書評論文、⑤書評

① 特集論文

第 27 号のテーマ：「国際社会の分断と国連：人権・開発・人間の安全保障の課題」（仮）

（趣旨説明）

「人権および基本的自由の尊重」は、国連憲章が定める国連の目的の一つである。1948 年の世界人権宣言に始まり、国際人権規約、人種差別撤廃条約、女子差別撤廃条約、拷問等 禁止条約、児童の権利条約、障がい者・先住民族・無国籍者といったマイノリティの権利、 発展の権利に至るまで、基本的人権に関する様々な宣言や条約などが採択されている。また、1990 年代には人間開発や人間の安全保障といった新しい概念が誕生し、「人権の主流化」の 流れの中で「人権に基づく開発アプローチ」の重要性が認識されてきた。そして、2015 年 に採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」では、「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標とターゲットがすべての人々の人権の実現を目指すものであり、「誰一人 取り残されない」世界を目指し、「最も遅れているところに第一に手を伸ばすべく努力する」ことが謳われている。このように国連は人権と開発を不可分の課題として位置付けてきた。2024 年 9 月に国連未来サミットが採択した「未来のための約束（The Pact for the Future）」では、AI とプラットフォームを含むデジタル技術の急速な発展に関連し、プライバシー権、情報へのアクセス権、オンラインにおける言論の自由など、デジタル環境における人権の保 障が課題として挙げられている。

SDGs の達成期限である 2030 年まで残り 5 年だが、目標達成は困難な状況にある。国連が作成した「SDGs 報告 2024」によれば、SDGs のターゲットのうち 3 分の 1 超は停滞または後退し、新型コロナウイルス（COVID-19）パンデミックの長期的影響、深刻化する紛争、地政学的緊張、気候変動の拡大が SDGs の進展を大きく妨げている。取り残されている脆弱な人々の尊厳を確保することが喫緊の課題であるにも関わらず、世界的な分極化が進 み、多国間主義や国際協調に大きな陰りが生じている。2025 年に再任されたトランプ政権は、「アメリカを再び偉大に（MAGA）」を掲げ、国際協調や多国間主義からの離脱を加速させた。この姿勢は、国連に対する政策にも顕著に表れており、SDG s や人道支援活動に深刻な影響を及ぼしている。国連をはじめとする国際機関、地域機関、国家、市民社会、企業といったグローバル・ガバナンスを担う多様な主体の協力と連帯がますます問われている。そこで本特集では、SDGs の進捗状況を踏まえて、分極化時代の国連の人権・開発・人間の安全保障の課題をテーマに、幅広い議論を行う。

今回の特集は、本学会の 2025 年度研究大会の共通テーマと連動させたものですが、その報告・討論メンバーや内容に限らず、広く会員の皆様からの多彩な論文投稿に期待しております。国際法、国際政治学、公共政策、史学などからの考察はもちろん、実務に携わる方からの投稿も歓迎いたします。

② 独立論文

特集テーマにかかわらない書下ろしの論考を受け付けています。

③ 政策レビュー

実務家の方々による現場の目を通した論考を募集いたします。国連における政策、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。

④ 書評論文

国連研究ならびに広く国際関係研究に貢献をしたと評価できる関連する複数の編著書（和文・欧文）を紹介・批評し、議論を展開する論考です。

⑤ 書評

一冊の編著書（和文・欧文）が国連研究ならびに広く国際関係研究にどのような貢献をしたかについて紹介・批評するものです。原則として過去2年以内に出版された学術書を対象とします。

II. 応募方法

各種論文を投稿する際には、まず、タイトルと趣旨（800字程度）を下記のアドレスまでメールでお送りください。また、書評執筆の申し込みまたは書評対象候補の推薦についてもメールにてお知らせください。

文教大学 杉浦功一

E-mail: ksugiura@bunkyo.ac.jp

III. 原稿掲載までのプロセス

各種論文の応募タイトルと趣旨、また、書評に関する執筆申し込みと書評対象書の推薦をメールにて編集委員会にご提出ください。検討のうえ、編集委員会が執筆の可否を決定いたします。「執筆可」の場合には、『国連研究』の執筆要領に沿って原稿をご執筆いただき、締め切り日までに完成原稿を提出していただきます。投稿された原稿は、編集委員会が依頼する二名による査読を経て、編集委員会が最終的な「掲載の可否」を決定いたします。なお、審査対象となる原稿は、①特集論文、②独立論文、③政策レビュー、④書評論文、の4種類です。書評は査読の対象外ですが、書評を含むすべての原稿に対して、修正や題目の変更など原稿の内容にわたる改訂を求める場合があります。また、編集委員会の判断により、ご希望のセクションとは異なるセクションでの掲載の可能性があります。

IV. 各種応募ならびに完成原稿の提出の締め切り日

- ・各種論文の応募（タイトルおよび趣旨）：2025年7月31日（木）
- ・書評の執筆申し込みと対象文献の推薦：2025年7月31日（木）
- ・完成原稿の提出：2025年11月25日（火）

V. 執筆要領・編集要領について

執筆要領ならびに編集要領は、学会ホームページに掲載されておりますのでご確認ください。